

令和 5 年度 仕 様 書

工 事 名	町道104号線側溝整備工事
工事箇所	秩父郡小鹿野町小鹿野地内
工 事 大 要	<p>工事延長 L=36m</p> <p>幅員 W=3.0m</p> <p>排水構造物工 L=36m</p>

小 鹿 野 町

積算情報書	
工 事 名	令和 5 年度 町道104号線側溝整備工事
変 更 回 数	
諸 経 費 区 分	公共 令和04年度
工 種 区 分	道路改良工事
単 価 適 用 年 月 日	令和05年04月01日付 公共
単 価 地 区	秩父(秩父県土整備)
機 損 適 用 年 月 日	令和04年10月以降適用
歩 掛 適 用 年 月 日	令和04年10月 公共
備 考	

本工事費内訳書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 基 準
道路改良工事02					K0003
道路土工	1	式			Y309010
床掘り 土砂 小規模	20	m3			P 1 号 SP210030-0001 -1- -1
埋戻し 小規模 土砂	10	m3			P 2 号 SP210410-0001 -1- -13
土砂等運搬 小規模 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) 土砂 6.0km以下 DID区間無 作業損耗費(良好)含む	10	m3			P 3 号 SP210110-0001 -1- -1
構造物撤去工	1	式			Y108215
コンクリート構造物撤去処分 Co廃材(有筋)	1	m3			処: E 1 号 I0002
コンクリート構造物撤去処分 Co廃材(無筋)	0.3	m3			処: E 2 号 I0007
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	39	m			P 4 号 SP430510-0001 -3- -1
舗装版破碎積込(小規模土工)	28	m2			P 5 号 SP210720-0001 -1- -1
殻運搬処分 As廃材	1.4	m3			E 3 号 I0006 処:
排水構造物工	1	式			Y500010
長尺U型側溝 300×300	26	m			E 4 号 I0001
長尺U型側溝 300×300、グレーチング	10	m			E 5 号 I0008
現場打ち集水桝 500×500	1	基			E 6 号 I0005
防護柵復旧工	1	式			Y513040
木柵撤去・再設置 有物使用	9	m			E 7 号 I0004
宅地擁壁新設 コンクリートブロック	6	m			E 8 号 I0003
舗装復旧工	1	式			Y512706

本工事費内訳書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 基 準
間詰路盤工(人力路盤施工) 再生切込砕石40～0mm (RC-40) 仕上り厚=12cm	11	m2			代 1 号 SQ100600-0002 参考資料 P40
間詰路盤工(人力路盤施工) 粒調砕石30～0mm (M-30) 仕上り厚=10cm	11	m2			代 2 号 SQ100600-0003 参考資料 P40
表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚50mm 密粒度ASコ(13) 平均幅員1.4m未満 プライムコート 締固密度2.35	11	m2			P 6 号 SP410260-0003 -1- -1
直接工事費計					P0000001
共通仮設費計	1	式			H03701
共通仮設費(率化)	1	式			H00803
共通仮設費率分	1	式			Q00910
純工事費	1	式			H00600
現場管理費	1	式			Q00601
工事原価	1	式			H00500
一般管理費等	1	式			Q00501
工事価格	1	式			金銭的保証を必要としない H00400
消費税等相当額	1	式			Q00401
合計					Q00402

町道104号線側溝整備工事

10002

第 1 号 E 代価

コンクリート構造物撤去処分 Co廃材（有筋）

(, 処:)

100 m3 当り

[illegible]

町道104号線側溝整備工事

10007

第 2 号 E 代価

コンクリート構造物撤去処分 Co廃材（無筋）

(, 処:)

100 m3 当り

[illegible]

[illegible]

町道104号線側溝整備工事

10008

第 5 号 E 代価

長尺U型側溝 300×300、グレーチング

10 m 当り

[illegible]

町道104号線側溝整備工事

10005

第 6 号 E 代価

現場打ち集水桝 500×500

1 基 当り

[illegible]

第 7 号 E 代価

木柵撤去・再設置 有物使用

10 m 当り

[illegible]

間詰路盤工(人力路盤施工) 再生切込碎石40~0mm (RC-40)

(仕上り厚=12cm)

(參考資料 P40)

100 m2 当り

小鹿野町

[illegible]

町道104号線側溝整備工事

S810760-0001

第 9 号 代価表

防護柵(横断・転落防止柵)設置工 土中建込 びーとハル 柵式 施工規模50m未満
(支柱間隔1.5m , 根巻きコンクリート無)
(-2- -19 ,)

[illegible]

[illegible]

第 2 号 施工パッケージ 埋戻し 小規模 (土砂 ,) (-1- -13 ,)							SP210410-0001
							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額 構成 比(%)	金 額	構成 比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号 基 準	
【機械】							
バックホウ 後方超小旋回型 排対型:2次基準 加-ラ型 山積0.28m3(平積0.2m3)						TM502003121 機械経費 P2-12	
タンバ及びランマ 60～80kg						TM10800612 機械経費 P2-69	
【労務】							
普通作業員						TR0102 土木単価 P1	
特殊作業員						TR0101 土木単価 P1	
運転手(特殊)						TR0114 土木単価 P1	
【材料】							
軽油 1.2号						TZ006702002 土木単価 P106	
ガソリン レギュラー スタンド 価格						TZ006704001 土木単価 P106	
【端数調整】							
[条件] [J1] = 5 施工方法 上記以外(小規模) [J4] = 1 費用の内訳 全ての費用				[J2] = 1 土質 土砂			

第 4 号 施工パッケージ

舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下

1 m 当り

(-3- -1 ,)

名 称 ・ 規 格	金額 構成 比(%)	金 額	構成 比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号 基 準
【機械】						
コンクリートカッタ[ハッチェム式・湿式] 径 56cm 切削深20cm級						TM11001212 機械経費 P2-83
その他(機械)						
【労務】						
特殊作業員						TR0101 土木単価 P1
土木一般世話役						TR0125 土木単価 P1
普通作業員						TR0102 土木単価 P1
その他(労務)						
【材料】						
コンクリートカッタ (ブレ-ド) 径22インチ						TZ006540003 土木単価 P107
ガソリン レギュラー スタンド 価格						TZ006704001 土木単価 P106
その他(材料)						
【端数調整】						
[条件] [J1] = 1 舗装版種別 アスファルト舗装版 [J5] = 1 費用の内訳 全ての費用				[J2] = 1 アスファルト舗装版厚 15cm以下		

第 6 号 施工パッケージ

表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚50mm 密粒度アスコン(13)

(平均幅員1.4m未満 , プライムコート 締固密度2.35)

1 m2 当り

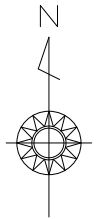
(-1- -1 ,)

名 称 ・ 規 格	金額 構成 比(%)	金 額	構成 比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号 基 準
【機械】						
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t						TM10800412 機械経費 P2-67
振動コンパクタ[前進型] 機械質量40～60kg						TM10800712 機械経費 P2-69
その他(機械)						
【労務】						
特殊作業員						TR0101 土木単価 P1
普通作業員						TR0102 土木単価 P1
土木一般世話役						TR0125 土木単価 P1
その他(労務)						
【材料】						
アスファルト混合物 密粒度アスコン(13)						TZ004100004 土木単価 P46
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用						TZ004130002 土木単価 P49
ガソリン レギュラー スタンド 価格						TZ006704001 土木単価 P106
軽油 1.2号						TZ006702002 土木単価 P106
その他(材料)						
【端数調整】						
[条件] [J2] = 50.000 mm 1層当り平均仕上り厚				[J1] = 1 平均幅員 1.4m未満 平均仕上厚50mm以下		
[A1] = 2 材料 密粒度アスコン(13) [J6] = 1 費用の内訳 全ての費用				[J4] = 3 瀝青材料種類 プライムコート PK-3		

第 10 号 施工パッケージ							SP222950-0001
現場打ち集水桝・街渠桝(本体) 人力打設 0.38m3を超え0.40m3以下 (18-8-25(20)高60% ,一般・特殊養生(練炭)) (-2- -45 ,)							1 箇所 当り
名 称 ・ 規 格	金額 構成 比(%)	金 額	構成 比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号 基 準	
【機械】							
バックホウ(クローラ)[標準] 山積0.8m3(平積0.6m3)						TL001010007 土木単価 P124	
【労務】							
型枠工						TR0133 土木単価 P1	
普通作業員						TR0102 土木単価 P1	
土木一般世話役						TR0125 土木単価 P1	
特殊作業員						TR0101 土木単価 P1	
その他(労務)							
【材料】							
生コンクリート 18-8-25(20) 高炉 【60%以下】						TZ002012001 土木単価 P27	
軽油 1.2号						TZ006702002 土木単価 P106	
その他(材料)							
【端数調整】							
[条件] [N1] = 17 コンクリート規格 18-8-25(20) 高炉 W/C60%以下				[J2] = 10 1箇所当りコンクリート使用量 0.38m3を超え0.40m3以下			
[J4] = 2 コンクリート打設工法 人力打設				[J3] = 1 養生工の種類 一般養生・特殊養生(練炭)			
[N3] = 1 生コン夜間割増 夜間割増なし				[N4] = 1 生コン小型車割増 小型車割増なし			

第 12 号 施工パッケージ 現場打基礎コンクリート 基礎砕石有 (18-8-25(20)高 , 一般・特殊養生(練炭)) (-2- -1 ,)							SP226170-0001
							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額 構成 比(%)	金 額	構成 比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号 基 準	
【機械】							
バックホウ(クローラ)[標準・クレーン機能付] 山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊						TL001010004 土木単価 P125	
バックホウ(クローラ)[標準] 山積0.8m3(平積0.6m3)						TL001010007 土木単価 P124	
【労務】							
型枠工						TR0133 土木単価 P1	
普通作業員						TR0102 土木単価 P1	
土木一般世話役						TR0125 土木単価 P1	
特殊作業員						TR0101 土木単価 P1	
その他(労務)							
【材料】							
生コンクリート 18-8-25(20) 高炉						TZA04220150 土木単価 P26	
軽油 1.2号						TZ006702002 土木単価 P106	
その他(材料)							
【端数調整】							
[条件]							
[N1] = 4 生コンクリート規格 18-8-25(20) 高炉				[J5] = 1 基礎砕石の有無 基礎砕石有り			
[J2] = 1 養生工の種類 一般養生・特殊養生(練炭)				[N3] = 1 生コン夜間割増 夜間割増なし			
[N4] = 1 生コン小型車割増 小型車割増なし							

位置図



数量総括表

工事区分 (LEVEL1)	工 種 (LEVEL2)	種 別 (LEVEL3)	細 別 (LEVEL4)	規 格 (LEVEL5)	単位	数値	設計数量	積算数量	摘 要
道路改良	道路土工	作業土工	床 掘	土砂	m ³	10	24.1	20	
			埋戻し	発生土	m ³	10	8.5	10	
		残土処理工	残土処理		m ³	10	14.6	10	
	構造物撤去工	構造物取壊し工	コンクリート構造物撤去処分	有筋	m ³	1	1.2	1	
				無筋	m ³	0.1	0.27	0.3	
			As舗装版切断	t=15cm以下	m	1	39.1	39	
			As舗装版破碎	t=15cm以下	m ²	1	27.9	28	
			殻運搬処分	As廃材	m ³	0.1	1.39	1.4	
	排水構造物工	側溝工	長尺U型側溝	300×300	m	1	26.0	26	
				300×300、グレーチング	m	1	10.0	10	
		集水桝工	現場打ち集水桝	□500×500	基	1	1.0	1	
	防護柵工	防護柵復旧工	木柵撤去・再設置	有物使用	m	1	9.0	9	
			宅地擁壁新設	コンクリートブロック 390×190×120	m	1	5.6	6	
	舗装工	舗装復旧工	下層路盤	再生砕石RC-40 t=12cm	m ²	1	11.4	11	
			上層路盤	粒調砕石M-30 t=10cm	m ²	1	11.4	11	
			表層	密粒度As(13) t=5cm	m ²	1	11.4	11	

計 算 調 書

工 種	道 路 土 工	種 別	作業土工・残土処理工
(レベル2)		(レベル3)	
<div> <div>■ 別紙 数量計算書 参照</div> </div>			
2. 床 掘 (土砂)			
<div> <div>別計</div> <div> $V = 22.78 + 1.29 = 24.07 \text{ m}^3$ </div> </div>			
2. 埋 戻 し (発生土)			
<div> <div>別計</div> <div> $V = 7.92 + 0.57 = 8.49 \text{ m}^3$ </div> </div>			
4. 残土処理			
<div> <div>埋戻可能土量</div> <div>必要土量</div> <div> $V = 24.07 - 9.43 = 14.64 \text{ m}^3$ </div> </div>			
○ 埋戻し可能土量 (地山量)			
<div> <div>床掘土量</div> <div> $V = 24.07 = 24.07 \text{ m}^3$ </div> </div>			
○ 埋戻し必要土量			
<div> <div>埋戻土量</div> <div> $V = 8.49 = 8.49 \text{ m}^3$ </div> </div>			
<div> <div>・ 必要土量 (地山量)</div> <div> $V = 8.49 \times 1/0.90 \text{ (} C = 0.90 \text{)} = 9.43 \text{ m}^3$ </div> </div>			

[illegible]

[illegible]

計 算 調 書

工 種	構造物撤去工		種 別	構造物取壊し工	
(レベル2)			(レベル3)		
■ 別紙 撤去工平面図及び撤去工計算書 参照					
1. コンクリート構造物取壊し（有筋）					
1) 既設ブロック及び基礎	L =	5.60	+	0.50	= 6.10 m
推定断面積					
	V =	6.10	×	0.20	= 1.22 m ³
2. コンクリート構造物取壊し（無筋）					
1) 既設集水枿	V =	(0.65*0.65*0.85) - (0.45*0.45*0.75)		=	0.21 m ³
	V =	0.21	×	1基	= 0.21 m ³
2) 既設枿補強コンクリート	A =	(0.90*0.90) - (0.45*0.45)		=	0.61 m ²
推定厚さ					
	V =	0.61	×	0.10	= 0.06 m ³
計				=	0.27 m ³
3. As舗装版切断（t=15cm以下）					
縦断方向 横断方向（起点）					
1) 側溝部	L =	36.00	+	0.87	= 36.87 m
2) 集水枿部	L =			=	2.20 m
計				=	39.07 m
4. As舗装版破碎（t=15cm以下）					
1) 側溝部	A =	（別紙計算書より）		=	27.22 m ²
推定厚さ					
	V =	27.22	×	0.05	= 1.36 m ³
2) 集水枿部	A =	2.20	×	0.30	= 0.66 m ²
推定厚さ					
	V =	0.66	×	0.05	= 0.03 m ³
平積 計				=	27.88 m ²

立積 計					=	1.39	m ³
5. 殻運搬処分 (Co廃材 (有筋))							
V					=	1.22	m ³
単位体積重量							
(処分量合計)	1.22	×	2.50 (t/m3)	=	2.87	t	
6. 殻運搬処分 (Co廃材 (無筋))							
V					=	0.27	m ³
単位体積重量							
(処分量合計)	0.27	×	2.50 (t/m3)	=	0.64	t	
9. 殻運搬処分 (As廃材)							
V					=	1.39	m ³
単位体積重量							
(処分量合計)	1.39	×	2.35 (t/m3)	=	3.28	t	

As鋪裝版破碎

計 算 書

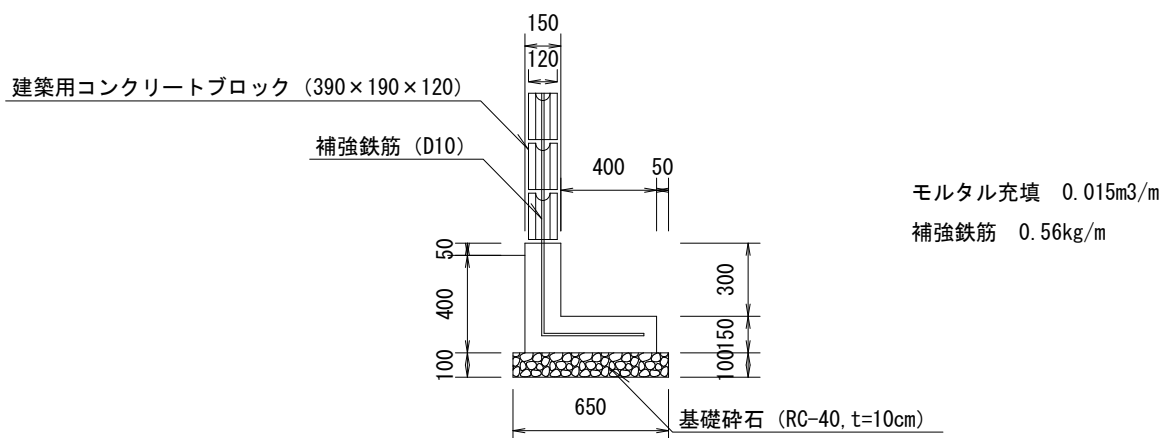
[illegible]

計 算 調 書

工 種	防護柵工	種 別	防護柵復旧工
(レベル2)		(レベル3)	
<div> <div>■ 別紙図面</div> <div>防護柵構造図</div> <div>参照</div> </div>			
<div> <div>1. 木柵撤去・再設置（有物使用）</div> <div> <div>1スパン当たり</div> <div> <div>L =</div> <div>1.50</div> <div>×</div> <div>6スパン</div> <div>=</div> <div>9.00</div> <div>m</div> </div> </div> </div>			
<div> <div>2. 宅地擁壁新設（コンクリートブロック、390×190×120）</div> <div> <div>L =</div> <div>=</div> <div>5.60</div> <div>m</div> </div> </div>			
<div>※ フェンス再設置（有物使用）を含む。</div>			

材 料 計 算 書

名 称	宅地擁壁（コンクリートブロック）	10.0 m 当り
-----	------------------	-----------



種 別	規 格	算 式	数 量
建築用コンクリートブロック	390 × 190 × 120	$N = 10.0 / 0.0741$	134.95 個
補強鉄筋	D10	$W = 0.56 * 10.0$	5.60 kg
モルタル充填		$V = 0.015 * 10.0$	0.15 m³
基礎コンクリート	18-8-25	$V = ((0.15 * 0.45) + (0.40 * 0.15)) * 10.0$	1.28 m³
基礎砕石	RC-40	$A = 0.65 * 10.0$	6.50 m²
基面整正		$A = 0.65 * 10.0$	6.50 m²
		※ コンクリートブロック1個当たり面積	
		$0.39 * 0.19 = 0.0741$	

計 算 調 書

[illegible]

[illegible]

鋪 裝 工 計 算 書

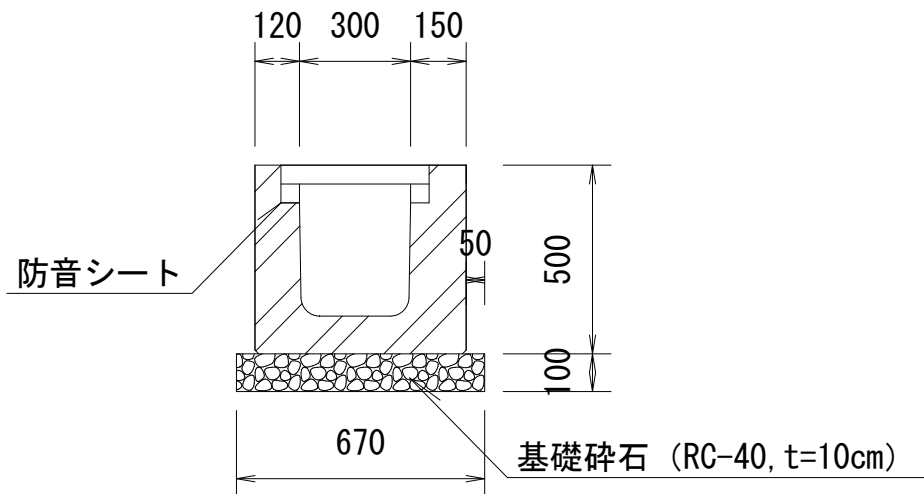
[illegible]

計 算 調 書

[illegible]

材 料 計 算 書

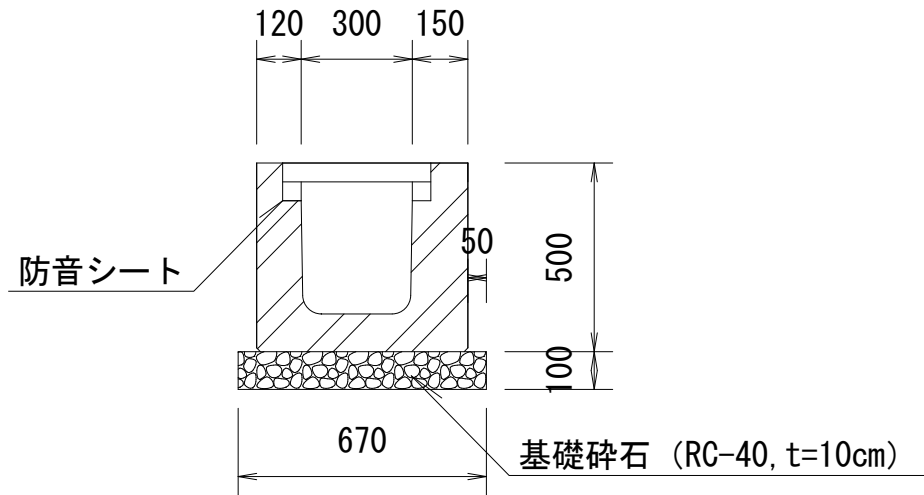
名 称	長尺U型側溝（車道用、300×300、コンクリート蓋）	10.0 m 当り
-----	-----------------------------	-----------



種 別	規 格	算 式	数 量
長尺U型側溝	300×300	$L = 10.0 / 4.0$	2.50 本
側溝蓋	600×390×100、普通	$N = 10.0 / 0.6 / 2.0$	8.33 枚
側溝蓋	600×390×100、網付	$N = 10.0 / 0.6 / 2.0$	8.33 枚
基礎碎石	RC-40	$A = 0.67 * 10.0$	6.70 m ²
基面整正		$A = 0.67 * 10.0$	6.70 m ²
防音シート	40×2×1990	$N =$	10.00 本

材 料 計 算 書

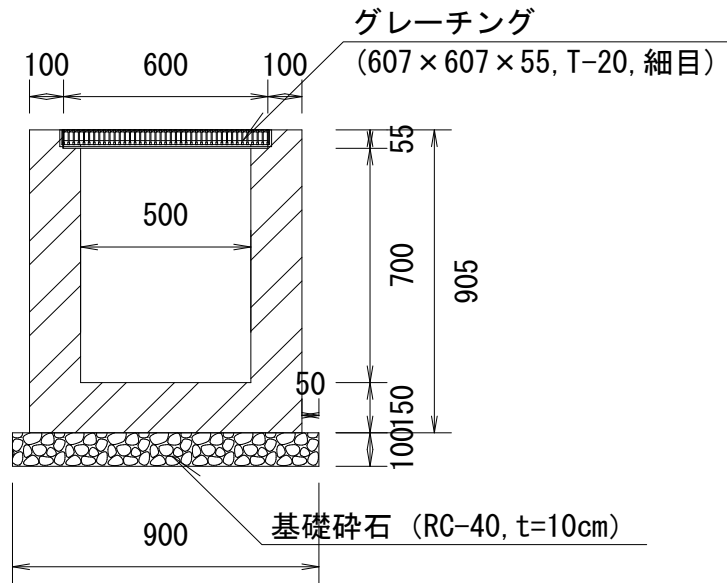
名 称	長尺U型側溝（車道用、300×300、グレーチング）	10.0 m 当り
-----	----------------------------	-----------



種 別	規 格	算 式	数 量
U型側溝	300×300	$L = 10.0 / 4.0$	2.50 本
グレーチング	995×390×100、T-20	$N =$	10.00 枚
基礎碎石	RC-40	$A = 0.67 * 10.0$	6.70 m ²
基面整正		$A = 0.67 * 10.0$	6.70 m ²
防音シート	40×2×1990	$N =$	10.00 本

材 料 計 算 書

名 称	現場打ち集水枡	1.0 基 当り
-----	---------	----------



種 別	規 格	算 式	数 量
コンクリート		$L = (0.80 \times 0.80 \times 0.905) -$	
		$(0.50 \times 0.50 \times 0.755)$	0.39 m ³
型枠		$A = (0.80 \times 0.90 \times 4) + (0.50 \times 0.70 \times 4)$	4.28 m ²
グレーチング	500×500用 T-20	N = (受枠含む)	1.00 組
基礎碎石	RC-40	$A = 0.9 \times 0.9$	0.81 m ²
基面整正		$A = 0.9 \times 0.9$	0.81 m ²

特記仕様書

(適用)

第1条 この特記仕様書は、次の工事の契約日から適用する。

- ・工事名 町道104号線側溝整備工事
- ・工事箇所 秩父郡小鹿野町小鹿野地内

(共通事項)

第2条 受注者は、「資源の有効な利用の促進に関する法律（資源有効利用促進法）」等に基づき、次の対象工事について、本工事に係る再生資源利用〔促進〕計画書を作成し、施工計画書に含め各1部提出する。また、工事完成後速やかに計画の実施状況（実績）について、再生資源利用〔促進〕実施書を作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を保存する。

○再生資源利用計画書（実施書）の作成対象工事（下記のいずれかに該当する工事）

- ①1,000m³以上の土砂を搬入する工事
- ②500 t 以上の砕石を運搬する工事
- ③200 t 以上の加熱アスファルト混合物を搬入する工事
- ④最終請負金額100万円以上の工事

○再生資源利用促進計画書（実施書）の作成対象工事（下記のいずれかに該当する工事）

- ①1,000m³以上の建設発生度を搬出する工事
- ②アスファルト・コンクリート塊、コンクリート塊、及び建設発生木材の合計で200 t 以上搬出する工事
- ③最終請負金額100万円以上の工事

2 受注者は、施工計画書に建設廃棄物の処理計画を添付する。なお、建設廃棄物の処分にあたり、排出事業者は処分業者と建設廃棄物処理委託契約を締結し、同契約書の写しを処理計画に添付する。

また、収集運搬業務を収集運搬業者に委託する場合は、別に収集運搬業者と建設廃棄物処理委託契約を締結する。

3 建設廃棄物については、「産業廃棄物処理におけるマニフェストシステムに基づく、建設廃棄物マニフェストA票、B2票、D票、E票を監督員に提示し、確認を受けるとともに、D票、E票の写しを提出する。また、完成検査時には原本を提示しなければならない。

(建設廃棄物の再資源化等)

第3条 受注者は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）に基づいて、特定建設資材（コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト・コンクリート）の分別解体等及び再資源の実施について適正な措置を講ずることとする。

なお、本工事における特定建設資材の分別解体等については設計図書において、再資源化について以下の積算条件を設定しているが、費用等については契約締結時に発注者と受注者の間で確認される事項であるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。

ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

○再資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所在地
コンクリート廃材	株式会社岩田組リサイクル工場	秩父郡小鹿野町両神薄 1465-3

※ 上記は積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。ただし、原則として再生資源化施設へ搬出すること。

なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものではない事項についてはこの限りではない。

2 受注者は、契約前に「分別解体等の計画等」について、文書で発注者に説明するものとする。

3 受注者は、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条第1項に基づき、以下の事項等を別紙「再資源化等報告書」に記載し、監督員に報告しなければならない。

- ・特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了した年月日
- ・特定建設資材廃棄物の再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用

また、同条第1項に基づき、特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施状況に関する記録を作成し、保存しなければならない。

なお、資源有効利用促進法等に基づく再生資源利用実施書・再生資源利用促進実施書を作成している場合は、その写しを参考資料として報告書に添付するものとする。

4 受注者は、工事の施工に当たっては、平成14年3月18日に策定した「彩の国建設リサイクル実施指針」を遵守し、建設資材廃棄物の再資源化等に努め、廃棄物の減量を図らなければならない。

（建設発生土の搬出）

第4条 建設発生土は下記のとおり搬出するものとする。（運搬距離L＝5.5km）

なお、搬出の手続き等は監督員の指示による。

搬出先	所在地
坂戸残土捨場（小鹿野町管理）	秩父郡小鹿野町両神薄地内

(再生資材の利用)

第5条 下記の再生資材を備考欄の部分に利用すること。

資材名	規格	備考
再生切込碎石	RC-40	下層路盤、基礎碎石等

(埋設物事前調査)

第6条 受注者は、施工前に地下埋設物について現地調査を実施し、調査結果を監督員に報告すること。

(施工時の交通規制について)

第7条 本工事の交通規制は、車両通行止めで行う。交通誘導警備員が必要となった場合は、監督員と協議し、決定すること。

(県産品の積極的使用)

第8条 調達する工事材料は、埼玉県産とするようつとめなければならない。

(法定外の労災保険の付保)

第9条 受注者は、法定外の労災保険に付さなければならない。

(その他)

第10条 その他疑義のある場合には、監督員と協議するものとする。